

せいひ会だより100号記念



せいひ会だよりがスタートしたのは、平成12年5月のこと。
号を重ねるにつれての変化は時代の変化でしょうか？

歳月、人を待たず
そんな言葉が浮んできます。

今、100号を迎え、『継ぐ』ことの大切さが刻まれているような気がします。



せいひ会だより 第1号

鳥屋山で暮らす人々。...

せいひ会だより 第10号

いよいよ完成！ 鳥屋山ハウス「丘の家」

せいひ会だより 第100号

鳥屋山ハウス「丘の家」

せいひ会だより 第100号

鳥屋山ハウス「丘の家」

せいひ会だより 第100号

鳥屋山ハウス「丘の家」

せいひ会だより 第100号

鳥屋山ハウス「丘の家」



☆お誕生日おめでとうございます☆

岩崎タカ様

金崎アサ様

茅原武知様

森山静枝様

横尾スエ様

坂口喜美枝様

松井クマ様

長井エツ様

パースティン蛇

井手澄様

竹下晶子様

林田ナツエ様

富崎キクエ様

増田隆治様

今回は丘の家・井手澄様にお話を伺いました。

大正11年7月、西彼町中山郷に井手家の一人っ子として生まれる。幼少時代は「さばけんおとぼけさん」で、気の利かん娘やった」そう。一人っ子で寂しくはあったようだが、ご近所が8人兄弟でいつも一緒に遊んでいた。中山神社で「いきりきのおんじやん」と数えながら鬼ごっこをしたり、陶器を砕いたオハジキで遊んだり楽しかったとのこと。

終戦まで佐世保の海軍工廠へ叔父の家から通っておられ、佐世保の空襲にも遭い焼夷弾が降ってくるのを今でも覚えていると話されていた。その頃、熊本県八代出身の夫と知り合い23歳で結婚し、終戦後中山に戻ってこられた。2男1女に恵まれ、稲・大豆・芋・麦など百姓をしながら生活されてたが「実家やったけん、そがん苦労して働いとらん」そう。一人っ子でわがままに育ったし、結婚しても実家に住んだったけん嫁姑の関係も知らんし何の苦労も知らん」と、あっけらかんと話されていた。また出かけるのが好きで、博多座まで演劇を観に何度となく足を運んだそう。

現在、丘の家で生活されているが「今の生活もわがまま放題でよかばい、美味しかご飯も食べさせてくれるし風呂も入れてくれる。おまけに遊びにも連れて行ってくれるし、ほんに昔も今もわがままの通って生まれつきのよかばい」と満足されていた。今の楽しみは「賑やかところが好いとるけん人の集まる所に行くことと、テレビの娯楽番組ば見るとが楽しみ。」と話され、また「昔から長嶋さん(元読売巨人軍監督)が好きで野球もよう見よった。倒れらしたって聞いたばってん今も元気にしとらずやろかね」と長嶋さんを気遣われていた。

「今の世の中は有難かね。お金さえ出せば何でもある。贅沢に今のごたる暮らしもできると。部屋にまで来て世話してくれるとばい」と昔との違いを話されていた。また、「ニュースでいろいろ分かるし、社交場も多かけん昔と違ごうて遊んでばっかいおられる。ばってん、遊び放題でいったら社会に残される。私はわがままで遊んでばっかいおったし、頭も体も使うとらんけんほんに頭のなましかと。早う呆けるとばい。85歳になってようやく反省しとります。」と今の若者に手遅れにならないよう参考にして欲しいと気遣っておられた。

いつも笑顔で朗らかで、元気に杖をついて歩いてリハビリ室に来られます。そして「長嶋さーん」と呼ばれる井手さんでした。

これからも明るく元気でいてください。お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイタリティー・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動にはこのバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

うたの時間

モニターに

動脈くねる

龍の舞

進立剛康

今の世は

団扇あつても

間に合わず

井上なるみ

夜なべして

覚えた体操

ゲンコツ山

本本誠一

夏たけて

庭の梢で

鳴く小鳥

山茶花しぐれ

冷たくふるむ

平田イエ

涼風

森章

安全

神近ツタ

元龜神近ツタ

元龜 森 章

将来の夢

河野ミエ

ぼうき星

谷川エツ

夏の川風

風和田村喜代子

風和田村喜代子

風和谷川エツ

風和河野ミエ

風和中澤初子

通所陶芸教室

奥月岡明子

奥月谷口&岡



陶芸で介護予防!!

陶芸は、土をこね、仕上がりイメージし、神経を集中させて作り上げるといふ「張」と「緩」を全身を使って行うレクリエーションです。皆さんもいかがですか?

7月のできごと

- 2日 書道クラブ(元龜の里)
- 10日 書道クラブ(風和の里)
- 7日 七夕(各事業所)
- 9日 亀岳小学校 4年生 見学・交流会
- 16日 書道クラブ(元龜の里)
- 24日 書道クラブ(風和の里)
- 21日 陶芸教室
- 26日 なごし祭り(中山神社)

8月の行事

- 1日 ~ 風和の里3周年展示会
- 9日 誕生会(通所・元龜の里)
- 23日 夕涼み会(風和の里)
- 31日 素麺流し(風和の里)
- 8月中 夕涼み会(GH)
- 書道・陶芸もいつも通り開催です

「涼」的七夕



七夕=そうめん流し?ここ数年そんな感覚が抜けません。そうめんを泳がす水の流しが「天の川」の「川」の流れを連想されるからでしょうか?織姫の機織りの細い糸が白い絹のようなそうめんを連想させるのでしょうか?

どちらにせよ、この暑い夏には、涼しくおいしいそうめんが一番ですね。この日の通所の昼食はお素麺。手に汗握ってそうめんを睨みつけている方はいませんか??願い事、欲張りすぎてませんか??

七夕のロマンチックなお話が台無しにならないように、清らかな心で夜空を眺めましょうね☆

亀岳小学校の皆さん



亀岳小学校の生徒さんが花笠片手に元龜の里に来てくださいました。少し緊張しながらも笑顔で花笠音頭を踊り、利用者の皆さんとレクリエーションを楽しみました。

若人の突然の訪問は一入まさる夏の喜び。生徒さんに感化され、いつもより伸びのよい体操でした。

中山神社に集う

7月26日に中山神社で行われた夏越祭り。今年も歌や踊りで盛り上がりしました。毎年恒例となりましたせいひ会職員の「同期の桜」は、真っ向から立ち向かうぞと覚悟を決めた顔つきで友人と強く握手を交わした後に飛び去る姿に観衆の心が惹きつけられたように思います。

カメラを片手に見入っているファン(利用者さん)もいたようです♪



愛の手作り劇場

トマト、ピーマン、ナス、キュウリ…。夏野菜がたくさん収穫できました。

さて、この野菜たちどうしましょう?ナスやキュウリは漬物に。次は何を育てましょう♪



避難訓練



7月29日、元龜の里では、階段やスロープでの避難訓練が行われました。

編集後記

『継続』ということは大切なこと。それを人から人へと継いでいくことは容易ではありません。解ってはいるけれど、振り返ってみて初めてその歴史の刻みを感じます。せいひ会も来年で20周年。人のつながりもまた継ぐことを続けるために大切なのだと「100号」に感を与えられた気がします。(佳)

ケアマネの独り言

～思い出～

せいひ会だよりが無事、100号を迎えることができました。私がせいひ会にお世話になって8年が過ぎましたが、勤務し始めた当初、私もせいひ会だよりの担当をしており、当時は原稿用紙にイラストをコピーしてから切り取ったり、文章も別紙に打ち込んでレイアウトを考えながら貼っていた事を思い出します。今となっては笑い話にもなりません。自分にとっては懐かしい思い出の一つとなっています。今の担当者は私と違い、PCに長けていて本当に綺麗に仕上げてあります。時代だと言ってしまうとそれまでですが、本当に感服します。今後も現担当者を筆頭に若者には頑張ってもらいたいです。いつも読んで下さっている皆様、今後もせいひ会だよりを宜しくお願いいたします。

(敏)